

SUMMER
#03

2022.8.2-4

ロッククライミングキャンプ

@長野県川上村廻り目平



8月2～4日の2泊3日、長野県川上村の廻り目平キャンプ場にて今年で11回目となる「ロッククライミングキャンプ」を開催。

小学1年から中学2年まで38名の参加は、過去最多の参加人数となりました。長野県川上村に位置し「クライマーの聖地」とも呼ばれる小川山を舞台に、岩登りに挑戦!!山の天気は変わりやすい!毎年、3日間の間、どこかのタイミングで大雨に見舞われるクライミングキャンプですが、初日・2日目は好天に恵まれ、2日間しっかり岩と向き合い、それぞれの課題にチャレンジすることができました。みんなにクライミングを教えてくれたのは、パラクライミング世界チャンピオンの小林幸一郎先生(こぼちゃん)をはじめとする、なおやせんせい、ゆいせんせい、まいこませんせいの4名。クライミングはもちろん、自然を愛する先生方に、3日間でたくさんのことを教えてもらいましたね。

岩それぞれ特徴があって、ルートごとでも難しさが違ったね。中には30分以上岩と向き合い、諦めなくなる自分の心と闘い続けた子もいました。頂上からの絶景を望むことができた子、あと少しで登りきれず悔しい想いをした子、自分で決めたゴールを達成できた子、それぞれにとって、この夏最大の挑戦になったと思います。ボルダリングでもロープクライミングでなく自分でルートを決めて岩に登る【フリークライミング】は大人でも中々経験することができない貴重な経験です。

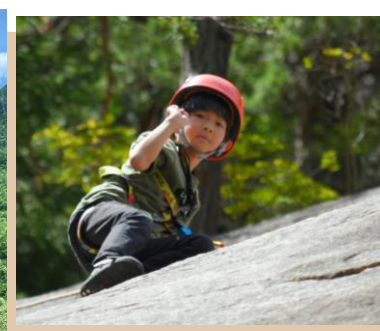
「自分はフリークライミングに挑戦したんだ!この夏、自然の岩を登ったんだ!」と自慢してくださいね♪



VS ガマスラブ

1日目の対戦相手は、「ガマスラブ」。傾斜はなだらかですが、凹凸の少ないスラブ壁がとくちょうの岩です。キャンプ場から山道をすすむこと約15分…森の中にひっそりと隠れそびえ立つ姿は圧巻でした。登る長さは25m程度。学校のプールと同じくらいだ！

ロッククライミングは、ボルダリングとは違い決まったルートがありません。自分の体ひとつで岩を登ることに最初はとまどいもありましたが、岩と向き合い、高みを目指します💧岩の形を見て、手や足のおき場を自分で考え、ゴールをめざします。『つかめない、もてない、のれない。』スラブ特有の難しさに苦戦しながらもゴールまで登り切れた子が何人もいましたね。それぞれ自分たちが設定したゴールを達成できたときのみんなの表情がとても素敵でした💧





2目目に対戦したのは、高さ30m近くある巨岩「フェニックス」。

これを登り切るには、勇気と覚悟が必要ですわね…。

昨日の”ガマスラブ“は岩も角度が少なだからかでしたが、フェニックスは、地面に対して垂直そびえています。登り方はもちろん、登る時の見え方も変わってきます。それぞれの難易度が異なる3つのコースの中から自分で挑戦したいコースをきめてアプローチをスタートしました。

VS フェニックス

特に苦戦したのは、直下していく降り方。

諦めそうになるときもありましたが、こばちゃんと話した、「無理だと思ったところから頑張る勇気を持つこと」をそれ意識してぞれ課題に全力で向き合いました。



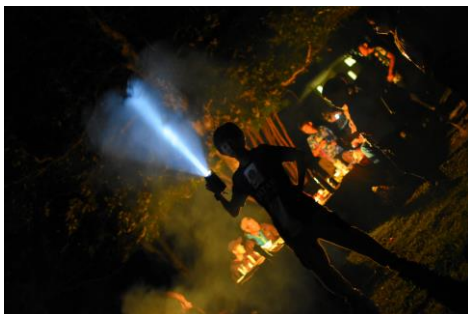


クライミングはもちろん、3日間の生活はテントでのキャンプ生活！みんなの知恵と工夫を出し合い、協力して生活したね。夜の火おこしに向けて、山盛りの枝を集めたり、仲間と協力して火おこしにもチャレンジしました！

空き時間には、ネクストワンの缶けり名人のぎっしーと缶けりタイム。大流行で空き時を見つけるとすぐにみんなで缶けりを楽しんでいました。

1日目の夜には、クライミングの特別講師小林 幸一郎先生(こぼちゃん)のお話を聞きました。こぼちゃんの子どもの頃のお話や、クライミングを始めたきっかけ、病気で目が見えなくなった時のこと、みんなと同じようにいろんなことができること、教えてもらいました。こぼちゃんと一緒にした花火では、「どんな色に光ってるよ！今すぐく燃えてるよ！」って細かく花火の実況中継をする声も聞こえてきました。

こぼちゃんからいろんなあお話を聞いたり、3日間一緒にこぼちゃんと過ごす中でいろんな気づきや発見があったんじゃないかな？



夜は、天体観測に花火。街灯1つない真っ暗な夜空に浮かぶ満天の星、そして流れ星。キャンプ場で過ごす夜は、いつもと違ってなんだか特別な気分でした。

最終日には「しゃくなげ遊歩道」にトレッキングへ出発。ほそ〜い山道を進み、沢を探したり、クライミングできそうな大きな岩も発見したね！

クライミングについてはもちろん、自然の素晴らしさを教えてくれた4名の先生方。かっこいい大人の姿に学ことがたくさんありました！

